

福岡市健康づくりサポートセンター指定管理者選定・評価委員会
<議事要旨>

1 日時

令和6年12月13日(金)午後7時00分～8時30分

2 場所

福岡市役所本庁舎 15 階 1501 会議室

3 出席者

(1)委員(五十音順)

檮木 晶子 委員
中原 一徳 委員
馬場 英司 委員
吉田 大悟 委員

(2)事務局

保健医療局総務企画部長	鎌 慎治
保健医療局総務企画部保健医療政策課長	仲野 雅志
保健医療局総務企画部保健医療政策課 主査(事業推進担当)	川村 至
保健医療局総務企画部保健医療政策課 事業推進担当	田中 照未

4 会議次第

- (1)開会
- (2)委員及び事務局紹介
- (3)会議の公開について
- (4)評価の実施要領について
- (5)指定管理者へのヒアリング
- (6)議題

評価委員会の評価についての審議

- (7)閉会

5 議事概要

項目	発言者	要旨
(1)開会	事務局	<事務局にて議事進行> <総務企画部長挨拶>
(2)委員及び事務局紹介	事務局	<委員紹介・事務局紹介>

(3)会議の公開について	事務局	<会議の公開・非公開を説明>
(4)評価の実施要領について	事務局	<評価の対象及び評価の実施方法等を説明>
<指定管理者入室>		
(5)指定管理者へのヒアリング	指定管理者	<指定管理業務の状況等について説明>
	委員	健康相談に関して、具体的にどのような内容の問い合わせがあったのか、それに対してどのように対応し、どのような自己評価を行っているか。
	指定管理者	食事に関するものなど、多種多様な相談を受けている。当センターのスタッフには、医師をはじめ、保健師と管理栄養士がいるため、それぞれのスタッフ間で情報共有をしながら対応をしている。 このような症状が出ているが、どこの科を受診したら良いかといった相談や、中にはかなり個人的な内容もあり、病気の内容の相談となってくると、必ず医師が直接対応するようにしている。
	委員	禁煙教室は、喫煙者の母数が減っており、受講者数を増やすのは難しい面もあると思う。がん予防等のため、福岡市としても重要な取り組みかと思うが、どのような工夫をされているか。
	指定管理者	企業等に営業しながら、また、薬局も禁煙サポート薬局があるので、そこと連携しながら進めている。
	委員	健診の実績を見ると、週末にたくさんの方が来ていて素晴らしい。1つの健診について大体100人から200人ぐらいの方が受診されているが、これはキャパシティとしてもっと増やせるものなのか。
	指定管理者	10年前から比べると受診者も年々増えてきており、これ以上受け入れるのは難しいという月もある。
	委員	健診に関して、平日夜間受診へのニーズに対応しているのは非常に素晴らしい点だと思う。しかし実績で見たときに、少し人数があがっていないところがある。その点についてどのように考えているか。
	指定管理者	夜間の実績については以前から課題として捉えている。昔は毎月1回行っていたが、受診者数が少なかったため、ふた月に1回に変更した。広報は昼間と同様に行っているのですが、やはりニーズ自体が少なめな

		のかとは感じている。
	委員	昼間は難しいけれど、夜間なら受診できる、夜間利用が良い、というような層に対してどのようにアプローチしていくか、何か策はあるか。
	指定管理者	そこについては模索中である。
	委員	1次予防の活動で、多岐にわたって、専門職で実施しているのは素晴らしい環境だが、実績数を見たときに内容によって少し差がある印象を受ける。病気に関連するような、糖尿病や生活習慣病予防に関する教室については一定数ニーズがありそうだが、禁煙や歯に関する教室については実績があがっていない状況なのかと思う。これに関してはニーズがそもそもないという判断なのか、それともニーズはあるけれども来てもらえるような結果につながっていないという考えなのか、今後それについて何か方策等あれば教えていただきたい。
	指定管理者	（禁煙外来で処方される薬が出荷停止となっている現状を受け）かかりつけ医が禁煙外来を中止しているところもある中、当センターでは薬を使わない禁煙教室を行っているので、数はそれほど増えているわけではないが、かかりつけ医からの相談で来られる方もいる。禁煙は、ご本人が自分の意志で来られるものなので、人数を増やすのが難しい面もあるが、こちらから講師として企業に出向く活動を積極的に行っている。
	委員	健診に関して、民間も同じような事業を行っている中で、こちらでやっているサービスで差別化できるところはどのような点か。
	指定管理者	当センターの健診はやはり、日曜・祝日に行っているところが強みだと考える。
	委員	その強みを利用者に伝えるため、広報をどのように工夫しているか教えていただきたい。
	指定管理者	SNSを使った広報などに力を入れて取り組んでいる。
	委員	指定管理料 A について、予算外で地下駐車場発券機等更新工事費というのがあるが、これは突発的に必要が生じたものか。

	指定管理者	この工事については、発券機が硬貨の刷新に伴い対応できなくなるため、新しいものに取り換えて新紙幣・硬貨に対応できるように更新している。
	委員	事業上やむを得ないものということか。
	指定管理者	はい。
	委員	経費節減について、おそらく相見積もりをとっていると思うが、相見積もりをとる基準を教えてください。
	指定管理者	相見積もりの金額的な基準ははっきりとは設けていない。50万円までは指定管理者の判断で使うことが出来る協定となっているので、低額の工事に関しては、ほぼ固定している業者を使っている。それ以上の額が見込まれる場合は、相見積もりを取って比較したうえで、安い方の業者を選定するようにしている。そういったところで経費を節減すると同時に、修繕費を抑えている。 また、修繕費の執行にあたっては、現場で見積を徴収するが、支社の方でも、金額を確認しており、例えば、別のお客様で、同じような見積を出したことがあるケースがあれば、必要に応じて、現場に伝えたりすることもある。ただ、あいれふに関しては、新しい業者を入れることにもデメリットが生じ得るため、金額次第のところではあるが、総合的に検討したうえでアドバイスをするように心がけている。
	委員	糖尿病重症化予防事業は、登録者数も増えているし、効果も出ているということで、こういった告知をされているのか。
	指定管理者	一番は市の広報物。あとはYouTubeなど、いろいろな形で広報をしている。 また、今回登録者数が増えた要因としては、各区保健福祉センターの健診結果説明会に出向いて、血糖改善サポートをご案内したり、かかりつけ医を通じてご案内いただいたことなども挙げられる。
	委員	土日・祝日の健診というのは市医師会の先生方に非常勤として来てもらっているということか。
	指定管理者	はい。

＜指定管理者退室＞		
(6)議題 評価委員会の評価についての 審議	＜各委員による評価後、委員会としての最終評価を審議＞ ＜非公開＞	
(7)閉会	事務局	本日、いただいたご意見等については、今後、指定 管理者と協議しながら、管理運営の更なる向上を図る ものとなるよう努めていきたい。 以上をもって、福岡市健康づくりサポートセンター指 定管理者選定・評価委員会を閉会する。